



IM and Presence サービス用に Cisco Unified Communications Manager を設定します

- [統合の概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager 統合の前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Unified Communications Manager の SIP トランク設定 \(3 ページ\)](#)

統合の概要

このセクションでは、IM and Presence サービスの設定を完了するために、Cisco Unified Communications Manager で完了すべきタスクを詳細に説明します。

Cisco Unified Communications Manager 統合の前提条件

IM and Presence Service を設定して Cisco Unified Communications Manager に統合する前に、以下の一般的な設定タスクを Cisco Unified Communications Manager で完了するようにしてください。Cisco Unified Communications Manager の設定手順の詳細については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html> の *System Configuration Guide for Cisco Unified Communications Manager* を参照してください。

次の表に、IM and Presence Service の統合に不可欠な設定作業を示します。フィールドおよびそのオプションの説明については、オンライン ヘルプを参照してください。

表 1: Cisco Unified Communications Manager で必要な設定

タスク	説明
ユーザ クレデンシヤル ポリシーを修正する	<p>ユーザのクレデンシヤル ポリシーの有効期限を設定することを推奨します。クレデンシヤル ポリシーの有効期限を必要としない唯一のユーザ タイプは、アプリケーション ユーザです。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager のユーザを認証するために LDAP サーバを使用している場合はクレデンシヤル ポリシーを使用しません。</p> <p>Cisco Unified CM Administration > の [ユーザ管理] > [ユーザ設定] > [クレデンシヤル ポリシーのデフォルト]</p>
電話機を設定し、各電話機にディレクトリ番号 (DN) を関連付ける	<p>[CTI からデバイスを制御可能 (Allow Control of Device from CTI)] を有効にして、電話がクライアントと相互運用できるようにします。</p> <p>[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] > [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]</p>
ユーザを設定し、各ユーザにデバイスを関連付ける	<p>ユーザー ID 値が各ユーザで一意になっていることを確認します。</p> <p>[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] > [ユーザ管理 (User Management)] > [エンド ユーザ (End User)]</p>
ユーザをライン アピアランスに関連付ける	<p>詳細については、次の項を参照してください。</p> <p>[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] > [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)]</p>
CTI 対応ユーザ グループにユーザを追加する	<p>デスクフォン制御を有効にするには、CTI 対応ユーザ グループにユーザを追加する必要があります。</p> <p>[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] > [ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザ グループ (User Group)]</p>
証明書交換	<p>Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスの間の証明書交換は、インストールプロセス中に自動的に処理されます。ただし、問題があり、証明書交換を手動で完了する必要がある場合は、Cisco Unified Communications Manager との証明書の交換を参照してください。</p>



- (注) IM and Presence サービスにアップロードする Cisco Unified Communications Manager Tomcat 証明書の SAN フィールドにホスト名が含まれている場合、それらのすべてが IM and Presence サービスから解決可能である必要があります。IM and Presence サービスは、DNS 経由でホスト名を解決できる必要があります。そうでないと、Cisco Sync Agent サービスが開始されません。これは、Cisco Unified Communications Manager サーバのノード名にホスト名、IP アドレス、または FQDN を使用するかどうかにかかわらず当てはまります。

Cisco Unified Communications Manager の SIP トランク設定

Cisco Unified Communications Manager への SIP トランク接続を設定するには、これらのタスクを完了します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定 (4 ページ)	Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスの間のトランク接続用の SIP トランクセキュリティプロファイルを設定します。
ステップ 2	IM and Presence サービスの SIP トランクの設定 (5 ページ)	SIP トランクセキュリティプロファイルを SIP トランクに割り当て、Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスの間のトランク接続を設定します。
ステップ 3	SRV クラスタ名の設定 (6 ページ)	これはオプションです。この手順は、Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスの間の SIP トランクで DNS SRV を使用していて、IM and Presence のデフォルトドメイン以外の SRV アドレスを使用している場合にのみ実行してください。この場合は、 SRV クラスタ名 サービスパラメータを設定します。それ以外の場合は、この作業をスキップできます。
ステップ 4	プレゼンス ゲートウェイの設定 (7 ページ)	IM and Presence サービスで、Cisco Unified Communications Manager をプレゼンスゲートウェイとして割り当てます。これにより、システムはプレゼンス情報を交換できます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 5	SIP パブリッシュ トランクの設定 (7 ページ)	これはオプションです。IM and Presence 用に SIP PUBLISH トランクを設定するには、この手順を使用します。この設定をオンにすると、Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence Service のライセンスが供与されたユーザに関連付けられたすべてのラインピアランスの電話の利用状況をパブリッシュします。
ステップ 6	Cisco Unified Communications Manager で サービスを確認する (8 ページ)	必要なサービスが Cisco Unified Communications Manager で実行されていることを確認します。
ステップ 7	クラスタ外の Cisco Unified Communications Manager の電話でのプレゼンス表示の設定 (8 ページ)	Cisco Unified Communications Manager を IM and Presence Service の TLS ピアサブジェクトとして設定します。IM and Presence Service クラスタ外にある Cisco Unified Communications Manager からの電話利用状況を許可する場合、TLS が必要です。

SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定

Cisco Unified Communications Manager で、IM and Presence サービスとのトランク接続用に SIP トランクセキュリティプロファイルを設定します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM Administration > システム > セキュリティ > SIP トランク セキュリティ プロファイルで、検索をクリックします。

ステップ 2 [Non Secure SIP Trunk Profile] をクリックします。

ステップ 3 [コピー (Copy)] をクリックします。

ステップ 4 プロファイル名を入力します。例えば、IMP-SIP-Trunk-Profile。

ステップ 5 次の手順を完了します。

- デバイス セキュリティ モード は 非セキュア に設定されています。
- Incoming Transport Type は TCP+UDP に設定されています。
- Outgoing Transport Type は TCP に設定されています。

ステップ 6 次のチェックボックスをオンにします。

- [プレゼンスのSUBSCRIBEの許可 (Accept Presence Subscription)]
- [Out-of-Dialog REFERの許可 (Accept Out-of-Dialog REFER)]
- [Unsolicited NOTIFYの許可 (Accept unsolicited notification)]
- [Replacesヘッダーの許可 (Accept replaces header)]

ステップ7 [保存 (Save)]をクリックします。

次のタスク

[IM and Presence サービスの SIP トランクの設定 \(5 ページ\)](#)

IM and Presence サービスの SIP トランクの設定

Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービス クラスタの間の SIP トランク接続を設定します。

始める前に

[SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定 \(4 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[デバイス (Device)] > [トランク (Trunk)] を選択します。
 - ステップ2 [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - ステップ3 [トランク タイプ (Trunk Type)] ドロップダウン リスト ボックスから、[SIP トランク (SIP Trunk)] を選択します。
 - ステップ4 [Device Protocol] ドロップダウン リストから [SIP] を選択します。
 - ステップ5 [トランク サービス タイプ (Trunk Service Type)] ドロップダウン リスト ボックスから、[なし (None)] を選択します。
 - ステップ6 [次へ (Next)] をクリックします。
 - ステップ7 [デバイス名 (Device Name)] フィールドに、トランクの名前を入力します。例えば、IMP-SIP トランク。
 - ステップ8 ドロップダウン リスト ボックスから [デバイス プール (Device Pool)] を選択します。
 - ステップ9 の中に SIP 情報 セクションで、IM and Presence クラスタのアドレス情報を入力して、IM and Presence サービスにトランクを割り当てます。
 - IM and Presence サービスに DNS SRV レコードを使用している場合は、宛先アドレスは **SRV** です。チェックボックスにチェックして、SRV を宛先アドレス フィールドに入力します。

- あるいは、宛先アドレスフィールドに、IM and Presence ノードの IP アドレスまたは FQDN を入力します。(+) ボタンをクリックして追加ノードを追加します。16 ノードまで入力できます。

- ステップ 10 [接続先ポート (Destination Port)] に、[5060] を入力します。
- ステップ 11 [SIP トランク セキュリティ プロファイル (SIP Trunk Security Profile)] ドロップダウン リスト ボックスから、前のタスクで作成した SIP トランク セキュリティ プロファイルを選択します。
- ステップ 12 [SIP プロファイル (SIP Profile)] ドロップダウン リストから、たとえば[標準 SIP プロファイル (Standard SIP Profile)] などのプロファイルを選択します。
- ステップ 13 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスの間の SIP トランクで DNS SRV を使用していて、IM and Presence のデフォルトドメイン以外のアドレスを使用している場合、[SRV クラスタ名の設定 \(6 ページ\)](#)。

それ以外の場合は、[SIP パブリッシュ トランクの設定 \(7 ページ\)](#) に進みます。

SRV クラスタ名の設定

Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスの間の SIP トランクで DNS SRV を使用していて、IM and Presence のデフォルトドメイン以外のアドレスを使用している場合、[SRV クラスタ名サービスパラメータを設定します](#)。それ以外の場合は、この作業をスキップできます。

手順

-
- ステップ 1 Cisco Unified CM IM and Presence Serviceability から、[システム (System)] > [サービスパラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウンメニューから、IM and Presence パブリッシャー ノードを選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウンから、[Cisco SIP プロキシ (Cisco SIP Proxy)] サービスを選択します。
- ステップ 4 SRV クラスタ名フィールドに、SRV アドレスを入力します。
- ステップ 5 [保存 (Save)] をクリックします。
-

SIP パブリッシュ トランクの設定

IM and Presence 用に SIP PUBLISH トランクを設定するには、このオプションの手順を使用します。この設定をオンにすると、Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager で IM and Presence Service のライセンスが供与されたユーザに関連付けられたすべてのライン アピアランスの電話の利用状況をパブリッシュします。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)]で [プレゼンス (Presence)]>[設定 (Settings)]>[標準設定 (Standard Configuration)]を選択します。
- ステップ 2 CUCM IM および Presence Publish Trunk ドロップダウンから、その IM and Presence サービス用に Cisco Unified Communications Manager に設定した SIP トランクを選択します。
- ステップ 3 [保存 (Save)]をクリックします。

(注) この新しい設定を保存すると、Cisco Unified Communications Manager の IM and Presence パブリッシュトランク サービス パラメータもこの新しい設定で更新されます。

次のタスク

[Cisco Unified Communications Manager でサービスを確認する \(8 ページ\)](#)

プレゼンス ゲートウェイの設定

この手順を IM and Presence Service で使用して Cisco Unified Communications Manager をプレゼンス ゲートウェイとして割り当てます。この設定は、Cisco Unified Communications Manager と IM and Presence サービスのプレゼンス情報交換を可能にします。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM IM and Presence Administration > [プレゼンス (Presence)]>[ゲートウェイ (Gateways)]から。
- ステップ 2 [新規追加 (Add New)]をクリックします。
- ステップ 3 [(プレゼンスゲートウェイ) Presence Gateway] ドロップダウンリストボックスから、CUCM を選択します。
- ステップ 4 [説明 (Description)]を入力します。
- ステップ 5 [プレゼンスゲートウェイ (Presence Gateway)]フィールドから、次のオプションのいずれかを選択します。

- Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ ノードの IP アドレスまたは FQDN

- Cisco Unified Communications Manager サブスクリバノードに解決される DNS SRV

ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。

次のタスク

[SIP パブリッシュ トランクの設定 \(7 ページ\)](#)

Cisco Unified Communications Manager でサービスを確認する

この手順を使用して必要なサービスが Cisco Unified Communications Manager ノードで実行されていることを確認します。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified Serviceability から、[ツール (Tools)] > [コントロール センター - 機能サービス (Control Center - Feature Services)] の順に選択します。
- ステップ 2 [サーバ (Server)] メニューから、[Cisco Unified Communications Manager] クラスタ ノードを選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
- ステップ 3 次のサービスが実行されていることを確認します。実行されていない場合、開始します。
- Cisco CallManager
 - Cisco TFTP
 - Cisco CTIManager
 - Cisco AXL Web Service (IM and Presence と Cisco Unified Communications Manager 間のデータ同期用)
- ステップ 4 上記のサービスのいずれかが実行されていない場合は、サービスを選択して[開始 (Start)] をクリックします。
-

クラスタ外の Cisco Unified Communications Manager の電話でのプレゼンス表示の設定

IM and Presence Service クラスタ外にある Cisco Unified Communications Manager から電話利用状況を許可できます。しかし、IM and Presence Service がクラスタ外の Cisco Unified Communications Manager から SIP PUBLISH を受け入れるようにするには、Cisco Unified Communications Manager が、IM and Presence の TLS 信頼ピアとしてリストされる必要があります

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Cisco Unified Communications Manager を TLS ピアとして追加 (9 ページ)	Cisco Unified Communications Manager を IM and Presence Service の TLS ピアとして追加します。
ステップ 2	Unified Communications Manager の TLS Context を設定します (9 ページ)	Cisco Unified Communications Manager TLS ピアの追加

Cisco Unified Communications Manager を TLS ピアとして追加

IM and Presence Service がクラスタ外の Cisco Unified Communications Manager から SIP PUBLISH を受け入れるようにするには、Cisco Unified Communications Manager が、IM and Presence Service の TLS 信頼ピアとしてリストされる必要があります。

手順

-
- ステップ 1 [\[Cisco Unified CM IM and Presence Administration\]](#) > [\[システム \(System\)\]](#) > [\[セキュリティ \(Security\)\]](#) > [\[TLS ピア サブジェクト \(TLS Peer Subjects\)\]](#) で、[\[Add New \(新規追加\)\]](#) を選択します。
- ステップ 2 [\[ピア サブジェクト名 \(Peer Subject Name\)\]](#) フィールドに外部 Cisco Unified Communications Manager の IP アドレスを入力します。
- ステップ 3 [\[説明 \(Description\)\]](#) フィールドにノードの名前を入力します。
- ステップ 4 [\[保存 \(Save\)\]](#) をクリックします。
-

次のタスク

[TLS コンテキストの設定](#)

Unified Communications Manager の TLS Context を設定します

次の手順を使用して、前のタスクで設定した Cisco Unified Communications Manager の TLS ピアを、選択した TLS ピアに追加します。

始める前に

[Cisco Unified Communications Manager を TLS ピアとして追加 \(9 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM IM and Presence Administration > [システム (System)] > [セキュリティ (Security)] > [TLS コンテキスト設定 (TLS Context Configuration)] で、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 2** [Default_Cisco_UP_SIP_Proxy_Peer_Auth_TLS_Context] をクリックします。
- ステップ 3** 使用可能な TLS ピア サブジェクトのリストから、Cisco Unified Communications Manager に設定した TLS ピア サブジェクトを選択します。
- ステップ 4** この TLS ピア サブジェクトを [選択された TLS ピア サブジェクト (Selected TLS Peer Subjects)] に移動します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 6** すべてのクラスターノードで Cisco OAMAgent を再起動します。
- [Cisco Unified IM and Presence のサービスアビリティ (Cisco Unified IM and Presence Serviceability)] から、[ツール (Tools)] > [コントロールセンター-ネットワークサービス (Control Center - Network Services)] を選択します。
 - [サーバ (Server)] ドロップリストボックスから、IM and Presence サーバを選択して、[移動 (Go)] をクリックします。
 - [IM and Presence サービス (IM and Presence Services)] の下で、[Cisco OAMAgent] を選択し、[リスタート(Restart)] をクリックします。
 - すべてのクラスターノードでサービスを再起動します。
- ステップ 7** OAM エージェントが再起動したら、Cisco Presence Engine を再起動します。
- [ツール (Tools)] > [コントロールセンター - 機能サービス (Control Center - Feature Services)] の順に選択します。
 - [サーバ (Server)] ドロップリストメニューから、IM and Presence ノードを選択して、[移動 (Go)] をクリックします。
 - [IM and Presence サービス (IM and Presence Services)] で、[Cisco Presence Engine] を選択して、[再起動 (Restart)] をクリックします。
 - すべてのクラスターノードでサービスを再起動します。
-

次のタスク

[Cisco Unified Communications Manager でサービスを確認する \(8 ページ\)](#)